

令和元年 12 月 6 日

湯沢町長 田村 正幸 様

湯沢町総合戦略推進会議

座長 鷺見 英司

湯沢町総合戦略案について（答申）

令和元年 10 月 31 日湯企政第 71 号で諮問のあった標記の件について、当会議において慎重かつ集中的に審議を重ねた結果、別添のとおり意見を取りまとめましたので答申します。

なお、貴職におかれましては、補助金その他の収入のほか行政全般の事務事業の見直し等により財源を確保し、総合戦略事業の実施に努めるよう希望します。

第3章 基本目標ごとの施策の展開について

【全体にかかる内容】

数値目標とK P Iについて、終期を総合戦略期間最終年度（令和6年度）とされたい。

基本目標1 魅力にあふれ、やりがいを感じて働くことができるまち

- (1) I T企業の進出推進について、テレワークやワーケーションの推進についても検討されたい。また、「テレワーク」や「ワーケーション」に脚注をいれ、分かりやすくするよう努められたい。
- (2) 起業支援について、チャレンジショップや空き家、空き店舗を利活用した起業も推進されたい。「チャレンジショップ」に脚注をいれ、分かりやすくするよう努められたい。また、起業後のフォローも行い、早期廃業を防ぐよう努められたい。

基本目標2 雇用が安定し、活力ある産業が持続するまち

- (1) 就労を希望する方の支援について、就労している方のスキルアップも支援対象とすることを明確にされたい。
- (2) 就労を希望する方の支援について、K P Iは客観的に検証できる指標を採用されたい。活動指標とすることで差し支えないと考える。
- (3) 働き方改革の推進について、K P Iは客観的に検証できる指標を採用されたい。
- (4) インターンシップ受入れ促進について、K P Iは客観的に検証できる指標を採用されたい。活動指標とすることで差し支えないと考える。

基本目標3 若者が生活の場として選択するまち

- (1) 数値目標について、人口ビジョンに合わせるとともに、単年ではなく平均値を採用されたい。
- (2) 移住支援体制の強化について、K P Iは20-30歳代がターゲットであることを明確にされたい。
- (3) 住宅・土地取得の支援及び新幹線通勤の支援について、実際に移住してきた方に意見を聞くなどして、ターゲットにとって分かりやすく、インパクトのある制度にするなど、内容を見直されたい。
- (4) 奨学金返還支援又は給付型奨学金の制度創設を検討されたい。

基本目標4 子どもがすくすく育つまち

- (1) 基本的な方向について、湯沢町の充実した子育て支援体制について記載されたい。
- (2) 数値目標について、人口ビジョンに合わせてるとともに、単年ではなく平均値を採用されたい。
- (3) 婚活支援について、結婚相談窓口の設置やターゲットを絞った交流会の開催など、取組内容を見直して実施されたい。
- (4) 婚活支援について、K P I は客観的に検証できる指標を採用されたい。
- (5) 子育て支援について、第2子、第3子の出産につながるよう、経済的負担の軽減を図られたい（例：給食費の無料化）。
- (6) 子育て支援について、K P I は客観的に検証できる指標を採用されたい。
- (7) 出産の希望を叶えるため、現行の不妊治療費助成制度が現状に即しているか検討されたい。
- (8) 妊婦の出産に対する不安を柔げる施策を検討されたい（例：助産師の確保等）。

基本目標6 人口減少時代に対応した安全・安心で快適なまち

- (1) 災害に強い地域づくりについて、年1回防災訓練を実施することを検討されたい。
- (2) 定住自立圏による取組の推進について、移住定住につながる取組を連携して実施されたい。

以上